

# 学習院大学 国際交流センター

Centre for International Exchange

# News Letter



vol. 17  
April 1, 2006

## 若者よ、留学しよう!

国際交流センター所長 早坂 信



### 夢を叶えよう

皆さんのうち、多くの方が留学したいという夢を持っていると思います。でも、「夢」のままで卒業する人がほとんどです。それはなぜでしょう。留学先の大学によっては語学力が不足するので、最初からあきらめているのではないのでしょうか。

留学という目標をたてて、その実現のため全力でぶつかれば、留学の扉は開くのです。毎年、その夢を実現している学生がいるのです。私は大学で英語を教えています。そのような学生は1年のときからわかります。留学という目標を決めて授業に出ますので意気込みが違います。そして、3年（早い人は2年）のときに外国の大学に留学できるのです。

### 留学で得られるもの

留学のいい点を考えてみましょう。日本で手に入る世界地図では、日本は「世界の中心」に位置しています。しかし、ヨーロッパやアメリカの地図では日本は地図の隅にある小さな国にすぎません。日本は世界の中心ではないのです。さらに、アジアからの留学生と話すことにより、日本はアジアの一国であることを実感します。大げさに言えば、日本の「殻」を破って外国で1年間自分を見つめ直すことにより、精神的に大きく成長することができるのです。

次に、若いときの貴重な体験があげられます。留学して異国の地に一步踏み出す。ついに外国に来たという感動とこれからの留学生活を考えたときの「武者震い」は口では言えません。この感動は、歳をとってからの「海外旅行」では味わえないのです。

また、卒業して会社などに就職したときのことを考えてみましょう。これからの日本は世界と競争していかなければ生き残ることはできません。そのためには国際感覚のある人材が企業でも求められます。大学時代の留学経験は皆さんの仕事や人生にとってプラスになります。

### 国際交流センターの役割

国際交流センターはベテランのスタッフが皆さんの留学の相談にのります。また、センターでは、外国から学習院大学に勉強に来ている留学生と交流の場を設けています。学習院には20数名の交換留学生および国費留学生のほかに100名程度の私費留学生がいます。この留学生と友達になり相手国のことを学び、日本のことを教えることにより、国際交流に参加することができます。私も大学生のとき日本で出会った外国人学生と、その後ずっと友達付き合いをしています。この友情は私の人生の「宝」になっています。

夢を叶えてください。国際交流センターは留学に挑戦する皆さんを応援します。

## アイスランド大学留学体験記

法学部政治学科 4年 新垣 絢



▼フィンランド・ヘルシンキ市内観光クルーズにて友人と（右から2番目が新垣さん）



学習院大学からアイスランド大学への派遣学生第一号として留学し、早6ヶ月が経ちます。

アイスランドは小さな国で、国土は日本の約4分の1、人口は30万人になっただけです。高福祉高負担の北欧型国家で、GDPや経済成長率は先進国の中でも高水準です。魚類の輸出で特に潤っています。アイスランド人が誇りにするのは、アイスランド語、バイキングの歴史、最初にアメリカ大陸を発見したバイキングのエリクソン、世界初の議会アルシング、世界初の女性大統領フィンボガ・ドットイル、プレート割れ目や間欠泉などの自然、羊料理、スキールという濃いヨーグルトのような乳製品、ビール文化、金髪と青い目のアイスランド美人、アイスランドセーター、アイスランドブランドのファッション"66°C NORTH"などです。アイスランド人の祖先はノルウェーからの移住者および流刑者のバイキングで、アイスランドへ行く途中にイギリスやアイルランドから奴隷として女性をさらって行ったので、彼らはよく「アイルランドとイギリスには不美人しか残っていない」と冗談を言います。また、アイスランド人は何世代かたどると、全ての人が数グループのバイキングのどれかにあたるそうです。アイスランド語は、フィンランド語の古語がほぼそのまま現在も話されています。音としては日本の東北弁によく似ている気がします。また、アイスランド人の苗字も特徴的で、父親の名前にson(息子)かdottir(娘)を付けたものなので、家族内で苗字が違うことも多々あります。政治面では、アイスランドはEU加盟国ではありませんが、シェンゲン加盟国です。かつての領主国デンマークと親密な国交があります。また、他の北欧諸国なども協力関係にあります。国内にアメリカ軍基地がありますが、中立国として国際社会に大きく貢献しています。

アイスランド大学は首都レイキャビクにあります。様々な学部とそれぞれの建物に分かれていて、大学エリア内には映画館、銀行、教会、本屋、ジム、国立図書館、ホテルがあります。各建物にはカフェがあり、コーヒーや軽食を売っています。アイスランド人はコーヒー好きで有名です。

私は主に政治、ビジネスとアイスランドに関するクラスを取っていますが、大抵の授業は先生がパワーポイントを使います。そして、自主的な発言が多く求められます。また、グループワークやプレゼンテーションが多いです。経済学部の英語で行われるクラスは、アイスランド人学生と外国人学生の混成なので、様々なバックグラウンドの意見が学べて面白いです。

アイスランド大学はシステムが全てインターネット化しています。履修登録、各クラスの諸連絡、シラバス、授業のパワーポイント、資料や教科書の内容が全て個人のホームページで管理されています。宿題提出や先生とのやりとりもインターネットが主です。アイスランドでは政府がインターネットの普及を支援していて、大学内や町中のカフェ、住宅街では無料でワイアレスが使用できます。

もう一つの特徴としては、子供連れの学生をよく見かける事です。学内にはシングルマザーや既婚者用の学生寮もありますし、出産やシングルマザーに対しての政府の補助がとても厚いので、それらが学業の妨げになることはあまりないようです。教室の外にベビーカーが置いてあったり、カフェテリアで子供の世話をしたりしている姿を見かけることもあります。

最近、学生団体に所属して選挙運動をしました。私は特に選挙に興味のない外国人層への呼びかけを担当しました。また、アイスランドとフィンランドで模擬国連に参加し、各国の参加者と、その国の政府関係者や国連関係者に会ったり、議論を重ねて多くの事を学びました。ヨーロッパにいるということと、ヨーロッパの国々の人と接することで、EUやUNを身近なものとして感じられるようになり、アメリカ・アジアを客観的に見られるようになったことが、これらの活動を通して得られた一番の収穫だと思います。また、日本あるいはアジアの代表として発言する機会が多いことから、世界的なコミュニティにおける日本とアジアの役割や今後のあるべき姿勢などについて深く考えるようになりました。将来、世界のリーダーになるべく素質のある人達や、実際に世界を動かしている人達に囲まれていることはとても刺激的です。

今後も貴重な留学生生活を最大限に生かして、色々なことに挑戦しようと思っています。

## スチワードムスイリラック

チカロロンン大学(タイ)からの協定留学

代表的なタイ料理を紹介したいと思います。もう皆さんはご存じで何回も食べたことがあると思いますが、「グリーンカレー」です。タイ語では「グリーンカレー」でなく、gaeng khiaw waanと呼ばれています。(gaengはカレー、khiawは緑、waanは甘いという意味です。甘くないのに、何で名前は甘いという言葉があるのか、タイ人の私もさっぱりわからない。ごめんなさい。)グリーンカレーは家庭料理で、いつでも食べられる。ぶっ掛けご飯の屋台でもよく見かけます。

とりえず、材料を準備しましょう。(最近日本でも本格的な材料はほとんど手に入りますが、便宜上、私は自分の好みや自分が持っている材料を使うことにします。)

## ●材料 (2~3人分)

- ・鶏肉 (ももがお勧め) — 200g (肉をたくさん食べたいなら、お好きなように。)
- ・ココナッツミルク— 200g (1缶は約400gで半分がいいです。実は私は適当。)

- ・グリーンカレーのペースト—適量 (インスタントはアジア系の店なら、売っています。)
- ・ナムプラー—少々
- ・砂糖—少々
- ・野菜— (お好みでなんでもいいですが、グリーンカレーに合うのは、なす、細切れの竹の子ですが、私はなすが苦手なので、今回は竹の子を使いました)

実は以上の材料があれば、グリーンカレーが作れますが、本格的なのはもっと材料が要ります。例えば、唐辛子、パイマックルー (こぶみかんの葉。柑橘系の香りがする。) など。

材料が全部揃ったら、早速作りましょう。

## ●作り方

- 1) 鶏肉を洗って、食べやすい大きさに切ってください。(言うまでもなく、当たり前のことかも)
- 2) 鍋にココナッツミルク1/2カップを加え入れて、グリー



# ハンゲ(ガ)リー精神に学べ

▶ 中心にある  
デアーク・フィレンツ広場付近  
(本人撮影)



近藤君とハンガリーの出会いは4年前。高校生の時に交換留学プログラムで1年間ハンガリーに滞在したことがきっかけだったそうです。それ以来、彼はハンガリーにぞっこん。2度目の留学先もやはりハンガリーを選びました。現在、自身のブログ(<http://hajra-magyarok.airnifty.com/>)で留学体験談を発信中。中欧留学に興味のある学生さんはそちらもぜひご覧ください。



法学部政治学科4年 近藤 修一

問題。ボールペン、マッチ、ビタミンC、ホログラム、電話交換機、コンピューター、原爆、ルービックキューブ。これらに共通することは?

Jó napot kívánok! こんにちは! 現在、ハンガリー共和国の首都ブダペシュトにある国立エトヴシュ・ロラント大学(ELTE)社会学部に留学中の近藤修一です。今回は僕の留学生活を紹介できる機会を頂いたので、ぜひ、普通の留学とはちょっと違う世界を少し

タイ編

## 世界の国からいただきます。



THAILAND



カレーのペーストを入れ、かき混ぜて炒め香りを出します。

- 3) 次、鶏肉、竹の子を加えて弱火で炒め、鶏肉に8分通り火が通ったら、残りのココナッツミルクを入れてください。
- 4) ナムプラー、砂糖で味を整え、直ぐ火を止めて出来上がりです。  
(辛さや塩分はグリーンカレーペーストやナムプラーで加減してください)

自分が作ったカレーを写真に撮ったんだけど、見た目はあまり美味しそうに見えないです。(笑) ちょっと彩りが欠けているからです。(本当に恥かしい)

タイでは、日本のように「いただきます」や「ご馳走さまでした」という挨拶はしないそうです。

確かにこんなおいしそうな食べ物を前にしたら、すぐに食べたくなってしまいますよね。タイ語で「おいしい」は「อร่อย (アロイ)」というそうです。タイカレーは「อร่อย มาก (アロイマーク)」(大変おいしい) です。

だけ味わってみたいと思います。

さて、冒頭の問題。答えはすべて「ハンガリー人が発明(発見)したものだ」です。生活に密着した身近なものや現代の生活に欠かせないものも含まれています。でもそれらを誰が発明したかはあまり知られていません(最も普段からそんなことを考えている人はいないかも…)。

僕がこの大学を発見したのはインターネットがきっかけ。ハンガリーは高校生の時にすでに1年間過ごした経験がありましたが、この大学にELTEとユネスコとの連携で、ELTE-UNESCO Minority Studies Departmentという授業はすべて英語による少数(民族)学科が設置されていることは知りませんでした。一昨年の12月頃に出願し、昨年9月から2回目の留学生活を送るべくハンガリーにやってきました。最初着いたところはハンガリー独特のいい加減さで、入学手続きや入寮手続きで相当ストレスを溜めたものですが、そんなことは今となっては思い出。留学仲間の話では、ハンガリーに限らずそんなにきっちり手続きしてくれる国はないようです。留学志望の方はご覚悟を。笑。

前期の授業をちょっと紹介すると、「社会的少数者と逸脱者集団」「選挙制度と少数者代表」「ホロコースト下のユダヤ人女性」などのタイトルで、すべて英語によるゼミ形式の授業でした。学生はハンガリー人が大半ですが、エラスムス・プログラムによるヨーロッパ人の学生も何人かいました。他にはハンガリー語とハンガリー文化の授業が週3回。これはレベル別にクラス分けされます。週たった6時間?と思われるかも知れませんが、それぞれ宿題や次までに読んでおくべき課題、プレゼンテーションなどが課されますので、結構これだけでいっぱいになります。授業中は発言を求められるので、課題は読んでおかなければならないし、人の意見を聞くためには寝るなんてことは考えられません。日本の大学で甘やかされて大学生活を送っている我々には、かなり厳しく感じられると思います。そんな中、ハンガリー人学生の取り組みには感心させられます。彼らには僕にはない通常の講義などもあるわけで、それらをこなした上で、僕よりずっと完成度の高いプレゼンテーションを見せます。見習わなくてははいけません。

さて、いわゆる中進国に留学することは、その人々の謙虚さや向上心を見ることができるといえるという意味で、先進国に留学するより得るものが多いと言えるかも知れません。彼らは、これから国際競争に勝ち抜いていかなければならないので、使える人材育成のために、たいがい、英語によるコースを設けています。そこで、普通の留学の成果+彼らのモチベーション+現地語のスキルが身に付いたらお得だと思いますか?それにお得な情報をもう2つ。これらの国は学費や生活費が圧倒的に安いことに加え、中欧諸国ならではの美しい中世の街並みの中で生活できます。どうですか、中欧留学!?

## フランスに初の協定校誕生!

本学はこの度、日仏間の国際理解と学生(学部学生・大学院学生)および教職員の交流促進のため、フランスのバリ第十大学と大学間協定を締結しました。

バリ第十大学は、旧バリ大学の分校として、1964年に文学部、1968年に法学部が設立され、1969年の高等教育基本法に基づいて、1970年に新制大学の一つとして現在の「バリ第十大学」となりました。

バリ第十大学は、バリ西郊外のナンテール市にキャンパスを構え、9学部6大学院4研究所を擁するフランスでも有数の総合大学です。また、世界各国の170を超える大学と、学生及び教員の交換や共同研究を進めるなど積極的に国際化を図っており、外国人留学生に対するフランス語教育にも力を入れています。

国際交流センターでは、学生の交換など積極的に交流を進めていきたいと思っていますので、どうぞご期待ください。

### 【バリ第十大学の概要】

1. 創立: 1970年
2. 所在地: フランス ナンテール市
3. 学部: Arts, Culture, Language & Philosophy; Economics, Management, Mathematics & Computer Science; Law and Political Science 等 9学部

# 学習院大学海外留学奨学金の募集のお知らせ

本学では、留学費用を援助し、できるだけ多くの皆さんが留学のチャンスを得ることができるように、奨学金制度を設けています。平成18年度第2回目の募集については、4月下旬に国際交流センターで配付する募集要項をご覧ください。

応募条件：教授会等で留学が許可されているか、もしくは海外の大学へ出願中の者

奨学金額：1人50万円（給付）

募集人数：15名（年間）

募集日程：

年度	募集時期（応募締切）	応募対象者
18年度	第1回（終了） 第2回（平成18年6月）	留学期間が および ①H18年4月～H19年3月の者 ②H18年10月～H19年9月の者
19年度	第1回（平成18年12月） 第2回（平成19年6月）	留学期間が および ①H19年4月～H20年3月の者 ②H19年10月～H20年9月の者

※ただし、①の者は第1回に応募するのが望ましい。

## 平成18年度大学院学生の 国外における研究発表援助の募集のお知らせ

本学では大学院学生の研究活動支援の一環として、海外で研究発表を行う学生に対し、10万円を限度に、費用の一部を援助する制度を設けています。平成17年度は下記の通り援助を行いました。平成18年度の募集については、4月下旬頃、お知らせします。

平成17年度大学院学生国外研究発表援助採用者（33名）

研究科	専攻	所属	採用者名
経営	経営	博士後期	ムルシタマ・ティルタ・ヌグラハ
人文	哲学	博士後期	マホトカ・ピエドツツカ・エバ
	日文	博士後期	札西才讓、中丸貴史、熊鷹、吉田路子、吉田美登利、柳慧政、魏聖銓
自然	物理	博士前期	石蔵明子、松本周子
		博士後期	薩川秀隆
	化学	博士前期	大高一真、腰原佐和子、小堤真紀、寺崎彰、土肥俊忠、殿岡真梨子、三富健、山崎沙織、山本俊介、石井宏太、小名木信耶、佐々木悠介、鈴木昭裕、萩原賢明、三谷葉子、森田尚志、吉田雅、渡邊正人
		博士後期	伊藤淳二、大道寺一憲

## 国際交流センターボランティア募集 および登録更新のお知らせ

国際交流センターでは、センター主催のイベント（留学生懇親会やバス旅行など）の企画・運営のお手伝い、留学生の相談相手、短期ホストファミリーなどのボランティアを随時募集しています。興味のある方は、国際交流センターまで来室の上、登録手続きをしてください。

また、現在ボランティアとして登録している学生の皆さんで、引き続きボランティアを引き受けてくださる方は、4月末日までに国際交流センターにて登録更新の手続きをとってください。

## TOEFL® - iBTについてのお知らせ

いよいよ日本でも5月からTOEFL® - iBTが導入される予定です。ただし、米国ETSの最近の発表では、5月時点での導入予定地域は限定的なもので、一時的にTOEFL® - CBTとTOEFL® - PBTが並行して実施される可能性があるとしています。今後の動向については、随時、米国ETSの公式HPで確認してください。

(<http://www.toefl.org/>)

# News Letter vol.17

April 1, 2006

発行日/2006年4月1日

編集・発行/学習院大学国際交流センター

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL.03-5992-1024 FAX.03-5992-1025

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/cie/index.html>

●編集後記●「世界の国からいただきます。」の第2弾、タイ編はいかがでしたでしょうか？ 今日本でも大人気のグリーンカレー。結構作るのに手間がかかるのかと思っていましたが、案外手軽にできる家庭料理だったとは！（もちろん、本格的に作れば別でしょうが。）ぜひ作ってみようと思います。さて、第3弾はどこの国の料理を紹介しようか思案中。学習院大学は留学生数こそ100名ちょっとですが、国籍は約20カ国に渡っており、意外と国際色豊かです。次回はどうぞお楽しみに！

### 【平成18年度国際交流センター運営委員】

所長	早坂 信	(外国語教育研究センター)
運営委員	MacGregor, Laura	(法学部・外国語教育研究センター)
//	Brown, Phillip	(経済学部・外国語教育研究センター)
//	田辺 千景	(文学部)
//	中島 匠一	(理学部)
//	有川 治男	(教務部長・文学部)
//	遠藤 久夫	(学生部長・経済学部)